

競技審判上の注意

- (1) 本大会は、公益財団法人日本バドミントン協会平成 25 年度の競技規則及び大会運営規程並びに公認審判員規程により行います。
- (2) 大会日程すべてにおいてタイムテーブルの 1 巡目のみ開始時間が決まっていますので、30 分前までに会場に到着してください。
なお、2 巡目以降は空いたコートに入る流し込み方式(試合番号順に空いたコートに入る)を基本とします。コートの変更がありますので、棄権のないよう会場に到着してください。また、試合進行及び選手集合の放送に十分気をつけてください。
- (3) 試合が連続する場合は、前の試合終了後、原則として 10 分後に次の試合を開始します。
選手集合の放送により、監督・コーチ・選手は選手集合所にすみやかに集合してください。
- (4) 集合後、監督・コーチ・選手は競技役員の確認を受け、指示に従ってください。
- (5) コート後方にコーチ席を 2 席、団体戦におけるベンチ 6 席は、コーチ席から離してコート後方に設置します。ベンチ・コーチ席に入ることができるのは、団体戦は登録した監督・コーチ・選手のみで、個人戦は登録した監督・コーチのみとします。
また、試合中インプレーでない時のアドバイスはコーチ席に着席して行ってください。
なお、モバイル機器(iPad・携帯電話等)を使用しての試合中のアドバイス・コーチングは禁止です。携帯電話は電源を切るか、マナーモードにしてください。
- (6) コートへの入退場は主審の指示に従い、次のとおりとします。
入場は、主審に続いて、組み合わせ番号の若番チーム(団体戦・個人戦とも、監督・コーチ・選手の順)から入場します。
退場は、主審に続いて、勝利チームから退場します。
- (7) シャトルは試打してありますので選択は認めません。
また、シャトルの交換については、主審が決定しますので指示に従ってください。
- (8) コートへのドリンク類の持ち込みはフタ付きの容器のみ認めますが、スクイズボトル以外のものはタオルを巻いてコートサイドのかごに入れてください。
- (9) 試合中プレイヤーがコートを離れる場合は、主審の許可を得なければなりません。
- (10) 主審が必要と認めた以外のプレーの中断は一切認められません。
- (11) 各試合(マッチ)のインターバルは次のとおりです。
 - 各ゲームにおいて、一方のサイドが 11 点になったとき、60 秒を超えないインターバルを認めます。
 - 第 1 ゲームと第 2 ゲームの間、第 2 ゲームと第 3 ゲームの間に 120 秒を超えないインターバルを認めます。各インターバルとも 2 人まで競技区域に入ってもよいが、主審が「20 秒」とコールしたら、すみやかに競技区域から離れて、選手はコートに入ってください。
- (12) 試合中のけがや病気に対してコートに入ることのできるのは、医師等の他、必要と認められる医療補助員と競技役員および競技審判部長、総務部長のみです。
- (13) 観客席からの大声の助言・指導、フラッシュ撮影等、競技に支障をきたす行為は禁止します。
- (14) 試合中の服装は、白又は(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、試合時必ず上着の背面中央にゼッケンを付けてください。ゼッケンは縦 15 cm、横 25 cm とし、都道府県名及び個人名(フルネーム)を明記すること。
ユニフォームの広告(ロゴ)については、平成 21 年 8 月 15 日付日小連文書のとおりとします。
- (15) 監督・コーチは試合にふさわしい服装で臨んでください。

団体戦

- (1) 1 回戦のオーダー用紙は、22 日 8:20 までにオーダー提出所に提出してください。2 回戦以降、オーダー用紙の提出については放送で案内します。
各チームの監督は、放送後すみやかにオーダー用紙を提出所に提出してください。再三の放送にもかかわらず、提出されない場合は「棄権」と見なします。
23 日準々決勝のオーダー用紙は、当日 8:30 までに提出してください。
4 回戦までは、代表者会議で受け取ったオーダー用紙を使用してください。それ以降は、試合終了後、勝者チームの監督は、次の試合のオーダー用紙を主審から受け取ってください。
オーダー提出後の選手の変更は認められません。
試合の対戦表(相手オーダー)は、試合開始時、主審より渡します。

- (2) コート入場後の公式練習はいずれかのチームが初回戦の場合のみ、主審の指示で各チーム 3 分間行ってください。順番は組み合わせ番号の若番チームからとします。
両チームとも 2 試合目以降の場合、公式練習は行いません。
- (3) 試合順は複、単 1、単 2 の順番で行います。
- (4) トーナメントの 1・2 回戦は 3 試合すべて行います。3 回戦以降は勝敗決定次第打ち切ります。
(並行試合になった場合も、試合の順序に関係なく勝敗決定後は打ち切りとします。)
- (5) 監督、コーチは所定の ID カードを着用の上、服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。

個人戦

- (1) コート入場後の公式練習はいずれかの選手が初回戦の場合のみ 3 分間とします。それ以降の公式練習は行いません。練習は対戦相手同士又はパートナー同士で行ってください。ヒッティングパートナーは認めません。
- (2) 監督、コーチは所定の ID カードを着用の上、服装は公認審判員規程第3条第5項第6号を厳守し、体育館シューズで入場してください。

その他

- (1) 審判員の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認めません。もし判定に対して疑問のある場合には、次のサービスが行われる前に「質問」をすることができます。
ここで質問のできる者とは、団体戦においては、当該選手と監督、個人戦においては、当該選手とコーチ席に着席している監督・コーチのうち 1 名に限ります。
- (2) 選手は試合開始前・終了後、主審と握手をしてください。
- (3) 傷害保険の適用は体育館内でのけが等に限り、
万一、けが等が発生した場合は、必ず大会本部へ連絡してください。連絡がない場合は、傷害保険の請求ができない場合がありますので、ご注意ください。